ThreeBond

# 安全データシート

**発行日** 2017-3-24 **改定日** 2018-2-05 **バージョン** 2

## 1. 化学品及び会社情報

**製品特定名**
**化学品の名称** ThreeBond 6154J

**推奨用途及び使用上の制限**
**推奨用途** 塗料

**供給者情報**
**製造者**
スリーボンドファインケミカル株式会社

**住所・担当部門**
神奈川県相模原市緑区大山町1-1
生産技術部

**緊急連絡電話番号**
042-774-1333

## 2. 危険有害性の要約

**GHS分類**

| | |
|---|---|
| 引火性液体 | 区分3 |
| エアゾール | 区分2 |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 | 区分2 |
| 生殖毒性 | 区分 1A |
| 特定標的臓器毒性(単回ばく露) | 区分3 |
| **区分3 呼吸器刺激性, 麻酔作用。** | |
| 特定標的臓器毒性(反復ばく露) | 区分2 |
| **区分2** 肺。 | |
| 水生環境有害性(急性) | 区分2 |
| 水生環境有害性(長期間) | 区分2 |

**GHSラベル要素**



**注意喚起語** 危険

**危険有害性情報**
H226 - 引火性液体及び蒸気
H223 - 可燃性又は引火性の高いエアゾール
H229 - 高圧容器: 熱すると破裂のおそれ
H319 - 強い眼刺激
H360 - 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ
H373 - 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ
H411 - 長期継続的影響によって水生生物に毒性
H335 - 呼吸器への刺激のおそれ
H336 - 眠気又はめまいのおそれ
H373 - 長期暴露又は反復暴露により以下の臓器に障害を生じるおそれ: 肺

**注意書き - 安全対策**
• 使用前にラベルやSDSを確認すること。
• 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
• 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を使用すること。
• 取り扱い後は顔、手、露出した皮膚をよく洗うこと。
• 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

• 屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
• 環境への放出を避けること。
• 熱／火花／裸火／高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。
• 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと
• 裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
• 容器を密閉しておくこと。
• 防爆型の電気機器、換気装置、照明機器等を使用すること。
• 容器を接地すること／アースをとること。
• 火花を発生させない工具を使用すること。
• 静電気放電に対する予防措置を講ずること。
• 涼しいところに置くこと。
• 加圧容器: 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと

**注意書き - 応急措置**

• 暴露または暴露の懸念のある場合: 医師の診断/手当てを受けること。
• 目に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
• 眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
• 皮膚(または髪)に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。水/シャワーで皮膚を洗うこと
• 吸入した場合: 被災者を空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること
• 気分が悪いときは毒物センターまたは医師に連絡すること
• 火災の場合: 消火するために粉末消火剤または耐アルコール泡消化剤を使用すること
• 漏出物を回収すること。

**注意書き - 保管**

• 施錠して保管すること。
• 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
• 日光から遮断し、50 °C以上の温度に暴露しないこと

**注意書き - 廃棄**

• 内容物/容器を承認を受けている廃棄物処理施設に廃棄すること。

## 3. 組成及び成分情報

**単一の化学物質または混合物** 混合物

| 化学物質名 | 濃度又は濃度範囲( % ) | 化審法 | 安衛法番号 | CAS番号 |
|---|---|---|---|---|
| プロピレングリコールモノメチルエーテル | 1-5 | (2)-404,(7)-97 | (2)-404,(7)-97 | 107-98-2 |
| トルエン | <1 | (3)-2 | (3)-2 | 108-88-3 |
| ジメチルエーテル | 35-45 | (2)-360 | (2)-360 | 115-10-6 |
| メタノール | 0.1-1 | (2)-201 | (2)-201 | 67-56-1 |
| アルミニウム | 1-10 | - | - | 7429-90-5 |
| 灯油 | 0.1-1 | - | - | - |
| グリコール系溶剤 | 25-35 | - | - | - |
| 結晶質シリカ | 0.1-1 | - | - | - |

**労働安全衛生法**

| 規制区分 | 法文物質名 | 政令番号 |
|---|---|---|
| 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) | アルミニウム及びその水溶性塩 | 37 |
| 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) | 結晶質シリカ | 165の2 |
| 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) | プロピレングリコールモノメチルエーテル | 496 |
| 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) | メタノール | 560 |
| 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) | アルミニウム及びその水溶性塩 | 37 |
| 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) | 結晶質シリカ | 165の2 |
| 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) | 灯油 | 380 |
| 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) | トルエン | 407 |
| 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) | プロピレングリコールモノメチルエーテル | 496 |
| 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) | メタノール | 560 |

**化審法**

| 規制区分 | 法文物質名 | 政令番号 |
|---|---|---|
| 優先評価化学物質(法第2条第5項) | トルエン | 46 |
| 優先評価化学物質(法第2条第5項) | メタノール | 90 |

## 4. 応急処置

**吸入した場合** 被災者を空気の新鮮な場所に移すこと。呼吸が不規則になった場合または停止した場合には、人工呼吸を施すこと。呼吸が困難な場合には酸素吸入を行うこと。

**皮膚に付着した場合** 液化ガスに接触した場合、ぬるま湯で凍った部分を融かすこと。

**眼に入った場合** 目に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師の診断／手当てを受けること。

**飲み込んだ場合** 口をすすぐこと。医師の診断／手当てを受けること。

**応急措置をする者の保護** 医療関係者が物質の関与を認識し、彼ら自身の保護対策を講じていることを確認すること。

**医師に対する特別な注意事項** 被災者を暖かく 安静にし ておく こと。

## 5. 火災時の措置

**引火性の特性**

容器は熱すると爆発することがある。

**消火剤** 周囲火災の種類に適し た消火剤を使用すること 粉末消火剤またはCO2。 リスクを伴わずに行えるのであれば、容器を火災区域から移動さ せること 損傷し たエアゾール缶の取り 扱いに注意すること

**特有の危険有害性** 燃えるものもあるが容易に点火するものはない 破裂し たボンベは突進すること がある。

**特有の消火方法** 消火作業を行う 者は、保護具(保護眼鏡，保護衣，呼吸用保護具等)を 着用し て、風上から 消火する。

## 6. 漏出時の措置

**人体に対する注意事項、保護具および緊急措置** 漏出物に触れたり 、その上を歩いたりし ないこと。 リスクを伴わずに可能なら 、漏出を止めること。

**環境に対する注意事項** 水噴霧を用いて蒸気を減少さ せるか蒸気雲が流れる進路を変える。流去水が漏出物に接触するのを防ぐこと。 水路、下水道、地下室または閉めきった場所への侵入を防止すること。 環境毒性の詳細情報についてはセクション12を参照のこと

**封じ込め及び浄化の方法及び機材** 可能なら 漏出し ている容器の向きを変え、液体よりもガスが漏出するよう にする。 物質を蒸発さ せる。

**浄化の方法** 漏出物または漏出源に直接水を向けてはならない。

**二次災害の防止策** すべての発火源を速やかに取除く (近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

## 7. 取り 扱い及び保管上の注意

**取り 扱い**
**安全取扱注意事項**
**技術的対策** 『８．ばく 露防止措置及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

**局所排気、全体換気** 『８．ばく 露防止措置及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

**保管**
**安全な保管条件** 容器を密閉し て、直射日光や火気を避け、適切な温度で保管すること。

**安全な容器包装材料** 保管の際には、容器を移し 替えないこと。また容器から出し たものを中に戻さないこと。

## 8. ばく 露防止及び保護措置

**ばく 露限界**

| 化学物質名 | 日本産業衛生学会 | 労働安全衛生法作業環境評価基準 - 管理濃度 | ACGIH 許容濃度、暴露限界 |
|---|---|---|---|
| プロピレングリコールモノメチルエーテル | - | - | STEL: 100 ppm<br>TWA: 50 ppm |
| トルエン | TWA: 50 ppm<br>TWA: 188 mg/m³<br>Skin<br>ISHL/ACL: 20 ppm | ISHL/ACL: 20 ppm | TWA: 20 ppm |
| メタノール | TWA: 200 ppm<br>TWA: 260 mg/m³<br>Skin<br>ISHL/ACL: 200 ppm | ISHL/ACL: 200 ppm | STEL: 250 ppm<br>TWA: 200 ppm<br>Skin |
| アルミニウム | TWA: 2 mg/m³<br>TWA: 0.5 mg/m³ | - | TWA: 1 mg/m³ respirable particulate matter |

**設備対策** 屋内作業場で使用の場合は、発生源の密閉化または局所排気装置の設置等の対策をする。 取扱場所の近くに、安全シャワー，手洗い，洗顔装置を設け、その位置を明瞭に表示することが望ましい。

**個人用保護具**

- **呼吸用保護具** 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
- **手の保護具** 適切な保護手袋(ポリエチレン製，ゴム製等の不浸透性素材のもの)を着用すること。
- **眼の保護具** サイドシールド付き保護眼鏡(またはゴーグル)を着用すること。
- **皮膚及び身体の保護具** 必要に応じて保護前掛け、保護長靴などを使用する。半袖の作業着の使用は避ける。

**注記** 取扱後は手をよく洗うこと。 取扱中は飲食禁止および禁煙。

## 9. 物理的及び化学的特性

**形状** 液体
**臭い** 溶剤臭
**色** 銀色

| 特性 | 値 | 備考 |
|---|---|---|
| **pH** | データなし | |
| **融点/凝固点** | データなし | |
| **沸点 / 沸点範囲** | データなし | |
| **引火点** | 28 °C | セタ密閉式 |
| **蒸発速度** | データなし | |
| **燃焼性(固体、気体)** | | |
| **空気中での可燃限界** | | |
| **燃焼上限:** | データなし | |
| **燃焼下限:** | データなし | |
| **比重** | 1.1 | |
| **水への溶解度** | 水に難溶 | |
| **自然発火温度** | データなし | |
| **分解温度** | データなし | |
| **粘度** | 15 秒 | フローカップ No.4 |

## 10. 安定性及び反応性

**化学的安定性** 通常の条件下で安定。 高温で反応する。

**危険有害反応可能性** 強酸化剤と反応し、火災の危険をもたらす。 還元剤と反応する 塩基と反応し、発熱する。

**避けるべき条件** 熱、炎および火花 直射日光

**混触危険物質** 酸化性物質。 強塩基。 ハロゲン。

**危険有害な分解生成物** 燃焼すると条件によって有害ガスが生成することがある

## 11. 有害性情報

**急性毒性**

**以下の値はGHS文書の第3.1章に基づいて算出された**
**吸入LC50** 製品としてデータなし。

**毒性の数値指標** - 成分情報

| 化学物質名 | 経口LD50 | 経皮LD50 | 吸入LC50 |
|---|---|---|---|
| プロピレングリコールモノメチルエーテル | = 5000 mg/kg（Rat） | = 13 g/kg（Rabbit） | > 7559 ppm（Rat）6 h |
| トルエン | = 2600 mg/kg（Rat） | = 12000 mg/kg（Rabbit） | = 12.5 mg/L（Rat）4 h |
| ジメチルエーテル | - | - | = 164000 ppm（Rat）4 h |
| メタノール | = 6200 mg/kg（Rat） | = 15800 mg/kg（Rabbit） | = 22500 ppm（Rat）8 h = 64000 ppm（Rat）4 h |

**短期的及び長期的暴露による直後の影響と遅発性の影響及び慢性的影響**

**皮膚腐食性及び皮膚刺激性** 製品としてデータなし。

**眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性** 製品としてデータなし。

**呼吸器感作性又は皮膚感作性** 製品としてデータなし。

**生殖細胞変異原性** 製品としてデータなし。

**発がん性** 以下に表が掲示される場合、本製品に含有される発がん性物質の情報を示している。表が掲示されない場合製品としてデータなし。この製品には、非吸入性形状のシリカが含まれている。この製品への暴露によりシリカが吸入される可能性は低い。

| 化学物質名 | 日本産業衛生学会 | IARC |
|---|---|---|
| トルエン | | Group 3 |

**生殖毒性** 製品としてデータなし。

**特定標的臓器毒性、単回ばく露** この製品には、非吸入性形状のシリカが含まれている。この製品への暴露によりシリカが吸入される可能性は低い。

**特定標的臓器毒性、反復ばく露** 製品としてデータなし。

**吸引性呼吸器有害性** 製品としてデータなし。

## 12. 環境影響情報

**生態毒性**
**水生環境に対する急性危険有害性** 製品としてデータなし。

**水生環境に対する慢性危険有害性** 製品としてデータなし。

**生態毒性** 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

| 化学物質名 | 藻類/水生植物 | 魚類 | 甲殻類 |
|---|---|---|---|
| プロピレングリコールモノメチルエーテル | - | *4600 - 10000: 96 h Leuciscus idus mg/L LC50 static 20.8: 96 h Pimephales promelas g/L LC50 static* | *23300: 48 h Daphnia magna mg/L EC50* |
| トルエン | *12.5: 72 h Pseudokirchneriella subcapitata mg/L EC50 static 433: 96 h Pseudokirchneriella subcapitata mg/L EC50* | *11.0 - 15.0: 96 h Lepomis macrochirus mg/L LC50 static 14.1 - 17.16: 96 h Oncorhynchus mykiss mg/L LC50 static 15.22 - 19.05: 96 h Pimephales promelas mg/L LC50 flow-through 5.89 - 7.81: 96 h Oncorhynchus mykiss mg/L LC50 flow-through 50.87 - 70.34: 96 h Poecilia reticulata mg/L LC50 static 12.6: 96 h Pimephales promelas mg/L LC50 static 28.2: 96 h Poecilia reticulata mg/L LC50 semi-static 5.8: 96 h Oncorhynchus mykiss mg/L LC50 semi-static 54: 96 h Oryzias latipes mg/L LC50 static* | *11.5: 48 h Daphnia magna mg/L EC50 5.46 - 9.83: 48 h Daphnia magna mg/L EC50 Static* |
| メタノール | - | *13500 - 17600: 96 h Lepomis macrochirus mg/L LC50 flow-through 18 - 20: 96 h Oncorhynchus mykiss mL/L LC50 static 19500 - 20700: 96 h Oncorhynchus mykiss mg/L LC50 flow-through 28200: 96 h Pimephales promelas mg/L LC50 flow-through 100: 96 h Pimephales promelas mg/L LC50 static* | - |

**残留性･分解性** 製品としてデータなし。

**生物蓄積性**
製品としてデータなし。

成分情報

| 化学物質名 | 分配係数 |
|---|---|
| プロピレングリコールモノメチルエーテル | -0.437 |
| トルエン | 2.7 |
| ジメチルエーテル | -0.18 |
| メタノール | -0.77 |

**内分泌かく乱物質情報** 製品としてデータなし。

## 13. 廃棄上の注意

**残余廃棄物** 国、都道府県、および市町村の規制に従って廃棄すること。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに依託して処理する。 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することはしてはならない。

**汚染容器及び包装** 使用済みの容器･ウエス等も、残余廃棄物と同様に処理する。

## 14. 輸送上の注意

**IMO／海上規制**

| | |
|---|---|
| **UN/ID番号** | UN1950 |
| **品名** | エアゾール |
| **国連分類** | 2.1 |
| **EmS - No** | F-D, S-U |
| **海洋汚染物質** | P |

**ICAO／IATA／航空規制**

| | |
|---|---|
| **UN/ID番号** | UN1950 |
| **品名** | エアゾール |
| **国連分類** | 2.1 |

**ADR(EU)／陸上規制**

| | |
|---|---|
| **UN/ID番号** | UN1950 |
| **品名** | エアゾール |
| **国連分類** | 2.1 |
| **ERG コード** | 10L |

**国内規制**

| | |
|---|---|
| **国連番号** | UN1950 |
| **品名** | エアゾール |
| **国連分類** | 2 |
| **副次危険性** | SP63 |
| **船舶安全法** | 高圧ガス(危規則第3 条危険物告示別表第１) |
| **民間航空法** | 高圧ガス(施行規則第１９４ 条危険物告示別表第１) |

## 15. 適用法令

**消防法** 第4 類 第二石油類(非水溶性)

**化審法** 優先評価化学物質(法第2 条第5 項)

**労働安全衛生法** 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第５７ 条第1 項、施行令第１８ 条第1 号、第2 号別表第９)
名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第５７ 条の2 、施行令第１８ 条の2 第1 号、第2 号別表第９)
作業環境評価基準(法第６５ 条の2 第1 項)
危険物・発火性の物(施行令別表第1 第2 号)
危険物・引火性の物(施行令別表第1 第4 号)
危険物・可燃性のガス(施行令別表第1 第5 号)

## 16. その他の情報

**発行日** 2017-3-24

**注記** 製品の特性等に関するお問い合わせは、ご購入先の営業所または株式会社スリーボンド お客様相談室までお願いします。お客様相談室 0120-56-1456

**主要参照文献とデータの出典**

- JIS Z 7253:2012 GHSに基づく 化学品の危険有害性情報の伝達方法-ラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (SDS)
- JIS Z 7252:2014 GHSに基づく 化学品の分類方法

**免責事項**

危険有害性の評価は必ずしも十分ではないので、取扱いには十分注意してください。
記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成されておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の取扱いを対象としたもので、特別な取扱いをする場合には、用途・用法に適した安全対策を実施願います。
この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
この安全データシートは日本国内向けに作成したものですので、無断での翻訳及び海外向けの交付はご遠慮ください。製品を海外に輸出する場合には、仕向国の法令・規制等について事前にご確認ください。

# [会社情報]

販売者：西九州スズキ自動車販売(株)
所在地：長崎県諫早市多良見町囲444
TEL:0957-27-2229